

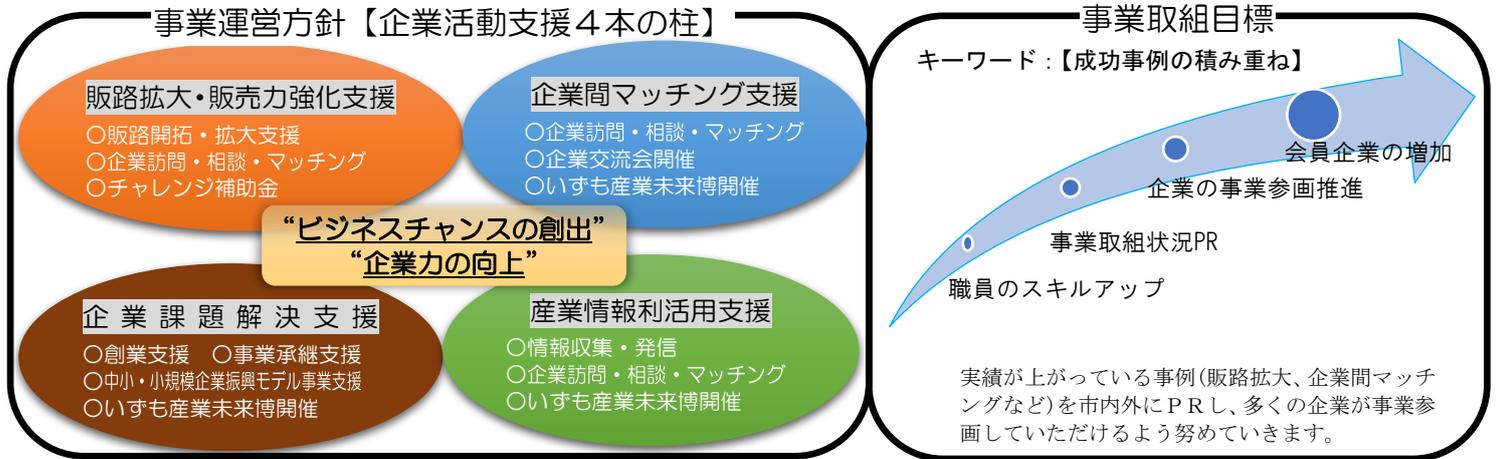
特定非営利活動法人 21世紀出雲産業支援センターの主要事業について

1. 組織 (令和元年 6 月 1 日現在)

- (1) 名称 特定非営利活動法人 21世紀出雲産業支援センター
- (2) 設立 平成 16 年 9 月 1 日
- (3) 代表者 理事長 藤河正英 (出雲市副市長)
- (4) 役員ほか 理事 12 名 監事 2 名 技術顧問 4 名
- (5) 会員企業 144 社
- (6) 活動目的 産業振興に関する事業を行い、産業の活性化を図る。
- (7) 事務局 職員 8 名 (正規 4 名、市派遣 2 名、嘱託 2 名)
- (8) 所在地 出雲市今市町北本町 3-2-1 (出雲市役所北部庁舎 1 階)

2. 事業運営方針

市内企業の製品・サービスの【外貨獲得力】(市外・県外・海外への販売力)、【地域内循環力】(製品・中間財の地産地消、市内企業間の事業連携)を高めていくことを基本に、企業・関係機関の意見・ニーズを把握し、市の産業振興事業に呼応し、意欲的に自社の成長を図る企業の【ビジネスチャンスの創出】と【企業力向上】を目的に「販路拡大・販売力強化支援」と「企業間マッチング支援」に取り組む。また、企業に有益な情報を発信する「産業情報利活用支援」に取り組み情報面から企業を支援する。さらに、地域産業活性化を図るための「創業支援」、企業の事業継続による安定した雇用の場の確保等を目的とした「事業承継」、今年度から新たにに取り組む、市内中小・小規模事業者の持続的発展を目的とした「中小・小規模企業振興モデル事業支援」及び「いずも産業未来博開催」等により、企業を取り巻く昨今の「課題解決支援」に取り組む。



3. 令和元年度 事業概要

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業の内容	
○販路拡大・販売力強化支援事業	【 6,996 千円】
販路開拓・拡大を図ることを目的に、出雲推奨商品「おいしい出雲」をはじめ、市内で生産、製造されている魅力ある商品、サービスの積極的なPRに取り組む。 また、企業の更なるレベルアップへの支援として、商談力、商品開発に関する研修等の開催及び事業展開拡大支援事業(チャレンジ補助金)を実施する。	
①「おいしい出雲」普及・販路開拓・拡大支援事業	
首都圏等への販路開拓・拡大を図るため、「おいしい出雲」認定商品中心に、百貨店、スーパー等	

でのフェア開催をはじめ、バイヤーへ商品提案会(商談会)を行うとともに、市・関係団体等が実施する物産販売イベントに対し出展者募集、取扱商品提案、運営補助等の支援を行う。

- ・「おいしい出雲」フェアの開催
- ・展示商談会の開催

②研修会、交流会、相談会の開催事業

企業のさらなるスキルアップ及び販路拡大を図るため、販路開拓・拡大や販売方法等に関する研修会を開催し企業力の向上を目指す。

- ・食品製造業スキルアップ研修会、相談会の開催
- ・「おいしい出雲」認定企業交流会(研修会、商談会、交流会)の開催

③チャレンジ補助金

企業の新たな「チャレンジ」や「レベルアップ」等、事業展開拡大への取り組みを支援する。

《補助率・上限額》 対象経費の1/2以内 上限10万円(10件)

- ・新商品開発・商品改良事業
新規性・独創性のある「商品開発」「商品改良」への補助
- ・新規販路開拓・拡大事業
販路開拓のための「商談・展示会等出展」や販路拡大のための「パッケージデザイン改良」「ホームページ開設」等への補助
- ・IT導入業務改善事業
業務改善を図る「電子システム導入」への補助

○企業間マッチング支援 【 3,951 千円】

新たなビジネス創出、企業活動拡大を目的に、企業のニーズ・強み・課題等の把握、企業の潜在力掘り起し、企業間マッチングに取り組む。

①企業間マッチング

企業の新たなビジネス創出や企業活動拡大を支援するため、市内企業を中心にビジネスの橋渡し(企業紹介等)、マッチング機会(場)の提供を行い、情報交換・人的交流を深める。

- ・企業交流会の開催(他機関との共催)

②企業訪問・相談・調査事業

企業の現況・ニーズ・課題等の把握及び解決を図るため、企業訪問や企業からの相談対応を行う。

また、市と連携した企業支援や産業振興施策立案・実施のため、企業情報の調査・収集・蓄積を行う。

- ・企業訪問・相談、企業調査専門員による企業調査

○産業情報利活用支援 【 940 千円】

企業に有益な情報を収集・精査しタイムリーかつ最適な方法による情報発信を行う。

①産業情報収集・発信事業

各種メディア(新聞・経済誌等)、関係機関メールマガジン等、各方面へアンテナを高く広げ、企業にとって有益な情報を収集・精査する。収集情報は、タイムリーかつ最適な手段(HP・メール・広報紙等)により発信する。

○産業振興に関するイベント開催 【 11,333 千円】

①出雲市合併15周年記念「いずも産業未来博2019」開催事業

地元企業・団体の製品・技術・研究内容や全国の先端技術・製品等を一堂に集め、広く情報発信

するとともに、子どもや学生など若者と、若者へ自社の技術や製品・商品をPRする機会の少ない地元企業とのマッチングする場を創出することで、将来の雇用確保と定住促進につなげていく。

○その他産業の振興に関する事業 【 5,464 千円】

①創業支援事業・事業承継支援事業

市内の創業促進を目的に、相談対応や創業塾開催等に取り組む。また、地場企業の持続的発展、雇用の場の確保を目的に、事業承継に関する情報発信及び普及啓発に取り組む。

- ・創業支援事業（「出雲市創業支援事業計画」に基づき、創業希望者への支援を行う。）

相談窓口での相談対応

創業塾(1回)、創業セミナー(1回)の開催

創業支援情報発信

- ・事業承継支援事業

事業承継の重要性等の情報発信、現状把握、専門機関紹介等

- ・いずも創業・第二創業・事業承継支援「御縁」への参画

- ・島根県よろず支援拠点との共催によるミニセミナー&相談会の開催

②中小・小規模企業振興モデル事業

出雲市中小企業・小規模企業振興計画の3つの基本方針をもとに、市内中小企業・小規模企業の成長・発展を図るためのモデル事業（中小・小規模企業振興モデル事業）の提案を募り、当該モデル事業の取組を支援する。

金額

○事業費

28,684 千円

○人件費（正規4名・嘱託1名人件費、派遣職員2名手当）

26,212 千円

○管理費

3,435 千円

合 計

58,331 千円

（2）出雲推奨商品認定委員会事務局事業

事業の内容

○出雲推奨商品認定事業 【 2,300 千円】

市内において生産又は製造されている魅力ある商品を認定し、情報発信・販売促進及び販売意欲の向上を図る。

- ・第3期認定（認定期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日）に向けて作業開始

①申請予定者説明会の実施 ②認定申請募集受付 ③認定審査委員会・認定委員会の開催

④出雲推奨商品ガイドブックの製作（企画・デザイン）

4. 平成30年度の主な事業実績

（1）特定非営利活動に係る事業

事業の内容

○販路拡大・販売力強化支援事業 【 6,906,567 円】

①「おいしい出雲」普及事業

首都圏スーパー等での出雲フェア開催、イベント等でのPRコーナーを設置

実施内容	開催回数	開催場所	実績(延数)	
			出展	取引
出雲フェア	10回	首都圏総合スーパー等	20社	179社・813商品
展示PR	1回	いずも産業未来博	サンプル商品展示	

②展示商談会の開催

市内で製造された商品及び農水畜産物の販路拡大を図るため、取引先のニーズに合わせた商材紹介・商談会を実施した。

商談・紹介先		紹介商材	紹介企業・ 商品数(延数)	成果・状況 (支援センター把握分のみ)
業種	開催数			
小売店	8回	食品	51社・105商品	定番取引7社、出雲フェア取引14社、スポット取引
		美容・健康商品	6社・6商品	採用なし
飲食店	3回	食品、食材	19社	定番取引6社、検討中1社
百貨店ギフト	2回	食品	7社	ギフト取扱1社、取扱予定4社
コープギフト	1回	食品	9社・36商品	中元カタログ採用1社 夏ギフト取引予定2社
出版社通販カタログ	1回	食品	4社	取引予定3社
		工芸品	3社	取引予定2社
越境EC	1回	美容・健康商品	2社・10商品	検討中
航空会社	1回	食品	2社	機内提供採用2社
計	17回		103社	取引(予定含む)42社

③食品製造業販路拡大実践塾の開催

食品製造事業者のスキルアップを目的に販路拡大に必要な基礎知識を学ぶ研修会を実施するとともに、受講内容を活用した個別商談会を実施した。

実施内容	研修会「卸売・販路拡大を図るうえで重要なポイント」、個別商談会、企業訪問指導
参加者	12社/15名
講師	(有)IMP 代表取締役 泉川 信一 氏(新日本スーパーマーケット協会事務局長)
商談先	2社(首都圏百貨店、卸売)

④企業交流会の開催

「出雲フェア」のブラッシュアップと取引拡大、企業間連携促進を目的に「研修会」「企業交流会」を実施した。また、商品改良や取引拡大に関する課題を相談する「個別相談会」を実施した。

実施内容	「出雲フェア」のブラッシュアップと取引拡大を図るために取り組むべきこと
参加者	15社・団体/17名
講師	(株)イトーヨーカ堂 グランツリー武蔵小杉店 店長 中村 紀子 氏
ゲスト	(株)マルシェ東京 代表取締役 吉岡 雅彦 氏

⑤事業展開拡大支援事業(チャレンジ補助金)

新商品・新製品の開発や販路開拓のための商談・展示会等出展、ホームページ開設、業務の効率化を図るためのIT導入等への補助を実施した。《補助率1/2 上限10万円》

事業名	交付件数	交付額
新商品開発・商品改良事業	3件	298,000円
新規販路開拓・路拡大事業	6件	570,000円
IT導入業務改善事業	1件	85,000円
計	10件	953,000円

⑥ホームページによる情報発信

出雲推奨商品をホームページに掲載し、商品紹介及び販売促進を図った。

《掲載数》65社/165商品

○企業間マッチング支援 【 4,052,419 円】

①企業訪問・相談・マッチング、市内企業調査

訪問等により企業の現況やニーズ等の情報収集を行うとともに、企業の課題や相談に応じることで企業活動を支援した。

《企業応対数》 社数 149 社 (H29 年度 152 社) 件数 294 件 (H29 年度 332 件)

②企業交流会の開催

・市内 6 団体合同 第 5 回会員交流会

企業支援を行う市内 6 団体の会員企業を対象に「企業間、学校との情報交換」や「新たなビジネスチャンスの創出」等を目的とした交流会を開催した。

共催	出雲商工会議所、平田商工会議所、出雲商工会、斐川町商工会、ビジネスサポートひかわ
参加者	45 社・9 校／113 名
実施内容	➢市内高校進路指導担当紹介 9 校 ➢頑張る企業PRタイム 3 社・1 校 ➢企業PRコーナー29 社 (試食・試飲 6 社／地酒 4 社／企業PR 19 社) ➢自由交流会 (情報交換・名刺交換 等)

○産業情報提供支援 【 1,556,868 円】

①ホームページによる情報発信

総アクセス数	51,392 件 (H29 年度 62,808 件)
掲載情報数	242 件 (H29 年度 312 件) セミナー・研修、補助金・助成金、展示会・商談会等出展、創業・事業承継

②メール便「ジョイナス～Join us!～電子版」による情報提供

情報提供先	435 社 (H29 年度 442 社) 支援センター会員、製造業(食品含む)、IT 関連、サービス業、建設業、 その他希望企業 等
提供情報数	34 件 (H29 年度 31 件) 出展者募集、セミナー・講演会、商談会・販路、その他

③広報紙「ジョイナス～Join us!～」による情報発信 (年 4 回発行)

○産業振興に関するイベント開催 【 12,845,364 円】

①いずも産業未来博開催事業

市内企業の技術・製品・商品を一堂に集め、来場者に「見て・触って・体感する」ことにより広く情報発信するとともに、未来の産業を担う子どもや学生と、地元企業・団体とのマッチングする場を創出することで将来の雇用確保と定住促進を図ることを目的に開催した。

開催日	平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)、4 日(日) 10:00～16:00(両日とも) @出雲ドーム
来場者数	13,700 人 (H29 12,600 人、 H28 10,500 人)
出展者数	122 社・団体 (H29 108 社・団体、H28 100 社・団体)

○その他産業の振興に関する事業 【 693,000 円】

①創業支援事業・事業承継支援事業

・創業塾「出雲で始める。出雲でつながる。」の開催

創業希望者を対象とした事業計画書の作成、融資制度や人材育成、創業事例の紹介を交え、実際の創業に役立つ経営、財務、販路開拓等の知識が身に付く講座を開催した。

実施回数等	全7回 20時間 @支援センター
参加者	12名（男性4名、女性8名） ※うち、特定創業支援事業修了者（4回以上出席）男性3名、女性8名
講師	足立 修司 氏（中小企業診断士、ワークショップデザイナー） 中野 三月流 氏（寺サプリー ディレクター、ワークショップデザイナー）

・創業セミナー「出雲で始める。創業の第一歩」の開催

創業を考えている方、創業に興味のある方を対象に、創業の心構えや進め方等、潜在的創業希望者の発掘と創業意欲喚起を目的としたセミナーを開催した。

実施回数等	全1回 2時間を2回開催 @支援センター
参加者	【1回目】6名（男性4名、女性2名） 【2回目】10名（男性7名、女性3名）
講師	足立 修司 氏（中小企業診断士、ワークショップデザイナー）

・創業ミニセミナー&相談会「実践！つい目が行くPOPの作り方」の開催

創業準備中の方、創業後間もない方を対象に、販売に関する課題解決と販売力強化を目的としたミニセミナー&相談会を島根県よろず支援拠点と合同で開催した。

実施回数等	全1回 3時間 @支援センター
参加者	5名（女性5名）
講師	児玉 志穂子 氏（島根県よろず支援拠点サブコーディネーター）

・創業・第二創業・事業承継に係る連携支援への参画

市内で「創業・第二創業・事業承継」支援を行う機関が「支援メニュー」や「相談者情報」を共有することにより、ワンストップで相談者のステージに応じた支援メニューを提供し、相談初期段階から実現後までの支援を強化する。

名称	いずも創業・第二創業・事業承継支援「御縁」
参加機関	出雲商工会議所、平田商工会議所、出雲商工会、斐川町商工会、島根中央信用金庫、日本政策金融公庫松江支店、ビジネスサポートひかわ、支援センター

金額

○事業費	26,054,218円
○人件費（正規4名・嘱託1名人件費、派遣職員1名手当）	23,107,791円
○管理費	3,168,108円
合計	52,330,117円

（2）出雲推奨商品認定委員会事務局事業

事業の内容

○出雲推奨商品認定事業『おいしい出雲』

①目的 市内において生産又は製造されている魅力ある食品を出雲推奨商品「おいしい出雲」として認定し、積極的に情報発信することで、販売促進及び販売意欲の向上を図る。

②第2期認定状況（平成27年8月1日～令和2年3月31日（4年8か月間））

認定商品：63社・162商品

③ガイドブックの製作

出雲推奨商品「おいしい出雲」の販売促進を図ることを目的に製作。交通要所、百貨店・スーパー、旅行代理店などへ配布し「消費額の向上・市内業者売上増加」「観光誘客促進」を図る。掲載数：58社・124商品

④第1期認定（平成24年10月1日～平成27年7月31日） 認定商品：87社・225商品